

# 環境経営レポート

2023 年度

(2023 年 4 月～2024 年 3 月)



発行日: 2024 年 5 月 24 日  
株式会社 ヒートテック

# 1. 組織の概要等

## (1) 社名及び代表者名

株式会社 ヒートテック

代表取締役 萩原史朗

## (2) 所在地（本レポートの対象範囲）

本社・工場 千葉県柏市花野井 685-5

## (3) 法人設立年月日

1991年 1月 8日

## (4) 事業活動の概要

産業機械(乾燥機器・加熱装置)及び関連機器の設計、製造、販売

## (5) 事業規模

		2018年度～2023年度				
単位	指標	〒2018@4@1 2019@3@1	〒2019@4@1 2020@3@1	〒2020@4@1 2021@3@1	〒2021@4@1 2022@3@1	〒2022@4@1 2023@3@1
従業員数	人	5.00	5.00	6.00	6.00	6.00
売上高	億円	8.200	9.600	4.300	9.500	8.000
売価率	m 2	124.39	322.39	322.39	216.00	216.00
設備投資	億円		5.220.00	2.760.00	6.080.00	6.300.00
設備丙	t	3.75	4.75	3.55	4.40	4.25
Sv丙丙	t					
Sv丙丙丙	km					
〒-----〒						
〒-----〒						
〒-----〒						

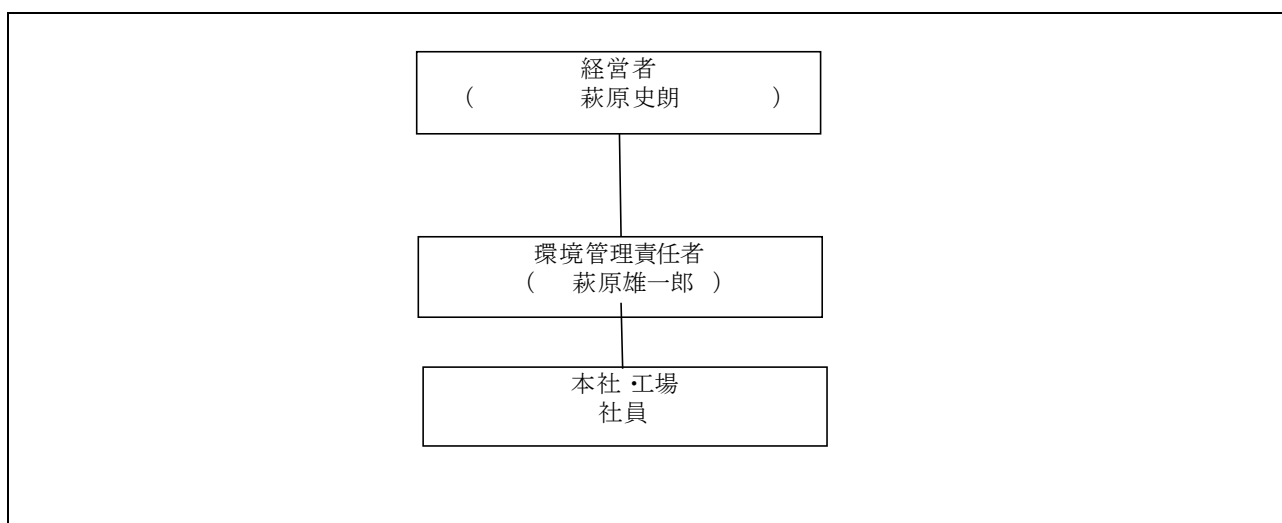
## (6) 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者(兼担当者) 萩原雄一郎

TEL:04-7170-1761 FAX:04-7170-1762

E-mail : yuichiro@heat-tec.co.jp

## (7) 組織図



役職	責任および権限
代表者	1 取り組みの対象組織 活動の明確化 ( 要求事項 1 ) 2 環境方針の作成、全従業員に周知 ( 要求事項 2 ) 3. 実施体制の構築 ( 要求事項 6 ) 4. 代表者による全体の評価と見直し ( 要求事項 13 ) 5. 環境経営レポートの承認 6. 経営における課題とチャンス
環境管理責任者	1 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価( 要求事項 3 事務局担当) 2 環境関連法規の取りまとめ ( 要求事項 4 事務局担当) 3. 環境目標及び環境経営計画の策定 ( 要求事項 5 ) 4. 環境コミュニケーションの実施 ( 要求事項 8 ) 5. 取組状況の確認及び問題の是正及び予防 ( 要求事項 12 ) 6. 環境関連文書及び記録の作成 管理 ( 要求事項 11 事務局担当 ) 7. 環境経営レポートの作成・公表 ( 事務局担当 )、確認 ( 環責 )
	1 教育 訓練の実施 ( 要求事項 7 ) 2 実施及び運営 ( 要求事項 9 ) 3. 環境上の緊急事態への準備及び対応 ( 要求事項 10 )
社員	1 実施及び運営 ( 要求事項 9 )、提案 ( 要求事項 8 )、環境上の緊急事態への対応 ( 要求事項 10 )

## 2.環境方針

### 環 境 方 針

株式会社ヒートテックは乾燥機器・加熱装置の設計、製作、販売において、全社員が環境に配慮した事業活動に取り組むことにより、環境負荷の継続的改善並びに環境関連法規の遵守等を推進し、企業の社会的責任を果たします。

#### 【環境行動指針】

##### 1. 二酸化炭素排出量削減

機械設備、温調設備、車両等の効率的な運用により使用エネルギーの削減に努める。

##### 2. 廃棄物排出量削減

製品製作過程で出る廃棄物の極小化に努めると共に、中間処理業者はリサイクルを優先する業者に委託する。

##### 3. 総排水量削減

水道配管からの漏洩防止をはじめとし、節水に努める。

##### 4. 環境配慮製品・サービスの提供

環境に配慮した製品開発 設計に努めると共に、顧客への積極的な環境保全の提案に努める。

##### 5. 環境教育の充実

環境への意識向上を図るため、従業員への定期的な教育の実施をする。

この環境方針を全社に周知し、一般公開する。

発行日 2011年7月6日

改定日 2022年5月24日

株式会社ヒートテック

代表取締役 萩原史朗

### 3.中期環境目標

#### 中期環境目標 (2021年度～2023年度)

承認	作成
萩原史朗	萩原雄一郎

	環境方針項目	基準値	新基準値	目標値						
		(2020年策定)	(2022年4月)	2021年度	2022基準	2023年度	2022基準			
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量 8,195 kWh/年	8,195	7,703 kWh/年	6.0 %削減	0.0 %削減	3.0 %削減	8,195 kWh/年	7,949 kWh/年
		化石燃料消費量の削減	灯油消費量	370	2021年実績 942	8.0 %削減	0.0 %削減	0.5 %削減	340	942
	灯油 <L/年>				L/年	L/年	L/年			
	ガソリン消費量		4,349	4,349	8.0 %削減	0.0 %削減	8.0 %削減	4,001	4,349	4,001
	ガソリン <L/年>				L/年	L/年	L/年			
	軽油消費量		500	500	8.0 %削減	0.0 %削減	8.0 %削減	460	500	460
	軽油 <L/年>			L/年	L/年	L/年				
計 (kg-CO <sub>2</sub> )	16,046 kg-CO <sub>2</sub> /年	17,470 kg-CO <sub>2</sub> /年	14,837 kg-CO <sub>2</sub> /年	17,470	16,436					
2	廃棄物の削減	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量 368 kg/年	368	335 kg/年	9 %削減	0 %削減	9 %削減	368	335
		産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量	8.0	8.0	7.4	8.0	7.4		
	m <sup>3</sup> /年		m <sup>3</sup> /年	m <sup>3</sup> /年	m <sup>3</sup> /年	m <sup>3</sup> /年				
	3	水使用量の削減 <水道使用量：m <sup>3</sup> >	水道使用量	水道使用量	従来基準値の60%	7.5 %削減	0 %削減	7.5 %削減		
249 m <sup>3</sup> /年			150 m <sup>3</sup> /年	230 m <sup>3</sup> /年	150	139				
5	環境配慮製品・サービスの提供	—	—	分解可能、且つコンパクト製品の設計	分解可能、且つコンパクト製品の設計	分解可能、且つコンパクト製品の設計				
6	環境教育の促進	—	—	定期的な教育の実施	定期的な教育の実施	定期的な教育の実施				

※目標値 = 基準値 x 削減率 (%)

※本環境目標設定表は、毎年度見直すものとする。

※CO<sub>2</sub>換算の値はR3 1/7環境省公表の値を参照しています

0.457kg-CO<sub>2</sub>/kwh

※2022年4月に新基準を採用するにあたり、下記項目については大幅な見直しを行った

- ・2021年3月に事業所を引っ越してから工場での作業スペースが広くなった事により灯油使用料が増える為
- ・2021年3月に事業所を引っ越しを行う前は 自宅用水を含んでおり、その分を含まなくなった為

#### 4. 2023 年度環境目標と実績

項目		基準値	削減目標%	目標値	2023年度実績	結果と評価			
二酸化炭素排出量の削減	電力の削減 (単位: kWh)	8,195	3.0%	7,949	8,457	6.0%	増	×	おおむね目標と実績が拮抗しており当面は様子を見る
	ガソリンの削減 (単位: ㍓)	4,349	8.0%	4,001	5,037.00	20.6%	増	×	現場出張が多く、ガソリン使用量は増えてしまったが売り上げにはつながっていた
	軽油の削減 (単位: ㍓)	500	8.0%	460	615.00	25.2%	増	×	現場出張にトラックで向かう事も増えた結果、使用量が増えてしまった
	灯油の削減 (単位: ㍓)	942	0.5%	937	396.45	-136.3%	減	○	製品の出荷スペースに場所を取られストーブの台数が減った結果、使用量も少なくなった
	CO <sub>2</sub> 排出量 (単位: kg-CO <sub>2</sub> )	17,470		13,347	18,127	26.4%	増	×	仕事量の増加に伴って、電力や燃料の使用量が大きくなってしまった
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物量 (単位: kg)	368	9.0%	335	331	-1%	減	○	目標値内で収まっている。
	産業廃棄物量 (単位: m <sup>3</sup> )	8	7.0%	7	0.5	-93%	減	○	極力資源を残すことなく製品化する事が出来た
水使用量の削減 (単位: ㍓)	150	7.5%	139	54	-157%	減	○	居住用の水道が無くなり、純粋に業務分のみとなっている	
化学物質使用量の適正管理								○	
環境に配慮した製品の提案・推進								○	

最終評価 ○: 目標値を達成 ×: 目標値を未達成

\* 各削減項目の月別の目標値達成評価は、達成している月の方が多い。

## 5. 環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取組

期間：2023年4月～2024年3月

環境目標項目	具体的取組内容	結果	評価	今後の取組	確認者	承認者		
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①休憩・外出時の消灯	各自実施出来てる	○	引き続き実施	篠崎	雄一郎	
		②エアコンの温度設定(夏季:27℃ 冬期:25℃)	夏期27℃は厳しい	○	夏季26℃に変更			
		③扇風機の使用	実施出来てる	○	引き続き実施			
		④クレーン・ボール盤・溶接機の点検	実施出来てる	○	引き続き実施			
	自動車燃料(ガソリン・軽油)消費量の削減	①エコドライブの励行	努めている	○	停車中の冷房の使いすぎに注意	運転者	雄一郎	
		②車の定期点検実施	実施出来てる	○	従業員も簡易点検可能にする			
	暖房燃料(灯油)消費量の削減	①外出時の電源オフ	各自実施出来てる	○	引き続き実施	篠崎	雄一郎	
		②適正温度設定(17℃～18℃)	実施出来てる	○	引き続き実施			
		③工場内での間仕切り使用	実施出来てる	○	引き続き実施			
	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物量の削減	①社内ゴミ分別の徹底	実施出来てる	○	引き続き実施	篠崎	社長
			②段ボール・梱包材の再利用	実施出来てる	○	引き続き実施		
			③コピーミスを減らし且つ、両面コピーを推奨	実施出来てる	○	引き続き実施		
産業廃棄物量の削減		①無駄を省いた購入計画	努めている	○	引き続き実施	雄一郎	社長	
		②鉄屑の分別	実施出来てる	○	引き続き実施			
		③リサイクルを行える産廃業者への引渡	実施出来てる	○	引き続き実施			
水使用量の削減	水使用量の削減	①節水ポスター貼付		○	引き続き実施	篠崎	雄一郎	
		②バケツ・桶の利用	実施出来てる	○	引き続き実施			
		③排水量の管理	実施出来てる	○	引き続き実施			
環境配慮製品の提供	環境配慮製品・サービスの提供	①製品の分解可能設計・コンパクト化	実施出来てる	○	引き続き実施	雄一郎	社長	
		②製品の簡易梱包に努める	梱包材の再利用	○	製品の配送に通い箱を使用			
		③リサイクル可能な材料の購入	努めている	○	錆にくいステンレス材を多く使用			
環境促進教育	意識定着等の教育	①環境活動ポスターの作成		○	引き続き実施	雄一郎	社長	
		②環境管理責任者による見回り	努めている	○	引き続き実施			
		③環境活動週間の導入	努めている	○	引き続き実施			

評価 ○: 予定通り取組実施 ×: 取組不十分

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に關係する環境関連法規等は下記の通りですが、下記のように遵守状況を2024年5月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去にありません。

I. 遵守義務のある法規関係				
区分	環境関連法規等名称	当社該当事項	遵守事項等	点検結果
温室効果ガス	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）平成27年4月1日制定		第1種特定製品に該当しない電気容量のエアコンであるが、温暖化係数の高いフロンを放出させないよう日常点検を実施する。 エアコン廃棄の際は適切にフロン回収をするように専門業者に委託する。	遵守 点検
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法） （産業廃棄物の適正処理）	産業廃棄物の排出	①産業廃棄物該当物 主に金属くず ②再資源化による廃棄物排出量削減	遵守 適正処理
		産業廃棄物の処理委託	①収集 処理事業者との委託契約締結 委託事業者の許可条件確認 ②定期的確認 許可期限の確認	遵守 契約書
		産業廃棄物の保管（廃プラ）	①保管場所の囲い、衛生管理（飛散、流出、地下浸透等防止） ②要求事項事項を記載した表示板の設置	遵守 掲示板
		産業廃棄物の処理委託（マニフェストの交付 処理 状況確認 遅滞報告 保存 交付状況の報告	①マニフェストの交付 B2.D票の回収期限は90日 E票の回収期限は180日 ②マニフェスト返送日の確認、記録、保管 ③マニフェストの保管 ④報告書保管 ⑤産業廃棄物の処理を適正に行うことが	遵守 マニフェスト
	廃掃法） （一般廃棄物の処理）	一般廃棄物の排出	①一般廃棄物の分別収集、排出	遵守 分別
	柏市、廃棄の処理およびリサイクルに関する条例	一般廃棄物の処理委託	①減量化、再資源化、②適正処理	遵守
循環資源 リサイクル	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	液晶テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン（フロンガスも含む）の廃棄	①使用済家電品のリサイクル処分 小売業者等への引き渡し ②長期使用に努める	排出無し 遵守
	使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	自動車の廃棄	③使用済車両のリサイクル処分 引き取り業者への引き渡しと費用の支払	排出無し 遵守
高压ガス	高压ガス保安法		経済産業省令で定める技術上の基準及び一般高压ガス保安規則 18条の2に従って貯蔵する。	遵守
II. 責務（努力義務）のある法規関係				
廃棄物	（千葉県）廃棄物の処理及び再利用に関する条例	事業系排出物の処理委託	①資源リサイクル、廃棄物減量、適正処理 ②許可業者への引き渡し ③条例の遵守に努める	遵守
資源循環	循環型社会形成推進基本法		①非鉄金属資源の再資源化推進 ②製品の長期寿命化 ③分解可能設計により循環利用	遵守
	容器包装に係わる分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）	ビン、カン、ペットボトルの廃棄	ビン、カン、ペットボトルのリサイクル 分別排出	遵守
	資源の有効な利用の促進に関する法律（改正リサイクル法）	資源（主に金属）の使用	①3R原則の教育と実践	遵守
省エネ	エネルギーの使用の合理化に関する法律	工作機械や電灯のエコ運転	①製造業務での省エネ推進 ②間接業務での省エネ推進	遵守



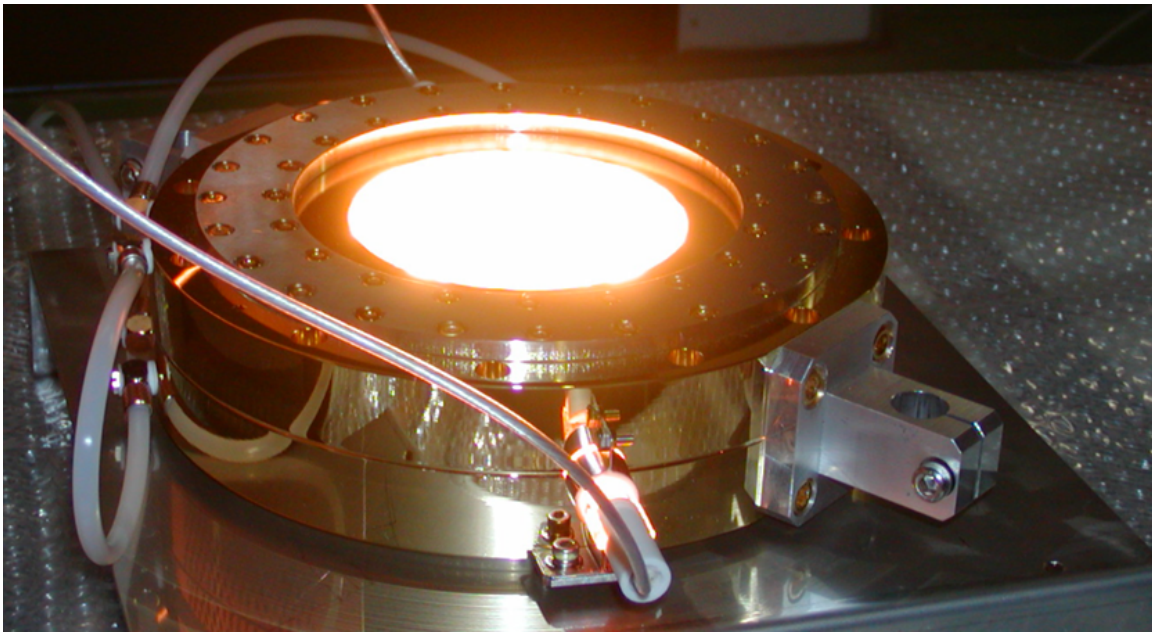
7. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体の評価と見直し  
結果報告書

代表者承認	環境管理責任者
萩原史朗	雄一郎

見直し実施日	2024年5月24日 ( <input checked="" type="checkbox"/> 定期見直し <input type="checkbox"/> 臨時見直し )			
見直し対象期間	2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日			
出席者	代表者、環境管理責任者			
前回の指示への取組結果	新工場になり環境に慣れてきたので、一層エネルギー削減へ取り組む			
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等の遵守記録による) ②環境目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果(環境経営計画書による) ③問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正処置／予防処置報告書による) ④外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による) ⑤その他(法規制の動向や取引先からの「グリーン調達」の情報等)			
代表者による 評価  経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①、③、④、⑤等を踏まえて評価)			
	機能している 社員全体に節電・節水・節約の意識が芽生えている			
	【環境への取組が適切に実施されているか】(②等を踏まえて評価)			
	目標項目	目標達成状況	活動計画実施状況	目標・活動計画実施状況の評価(達成の場合: 目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合: 原因の明確化、次年度の目標や対応策)
	CO2排出量の削減	達成	×	仕事量の増加に伴い、電力使用量と燃料使用量が増えている
	廃棄物排出量の削減	達成	○	今年度は廃棄物を少なく活動を行えた
	水使用量の削減	達成	○	かなり意識的に節水に心がけている
	グリーン購入の推進	達成	○	コピー用紙をはじめ文具や洗剤などの購入は既に定着している。
環境配慮型商品の提供	達成	○	引き続きコンパクト且つ分解可能な製品の設計を行う。	
環境教育の促進	達成	○	年1回の環境問題や各自で出来ることへの喚起を促す。	
代表者による 見直し  変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	【環境方針】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	引き続き、環境負荷の継続的改善・環境関連法規の遵守等を推進し、企業の社会的責任を果たす。			
	【環境目標及び環境経営計画】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	引き続き自社に即した目標設定により、一年全体を意識して環境活動を行う。			
	【環境経営システム等】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
社員一人ひとりが意識して出来ることを行う。				
【経営における課題とチャンス】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
対外的なアピールが出来ていないので、より強力に自社の存在を目立たせる策を検討する。				

## 8. 弊社の製品例（一点）



### ●急速高温加熱ヒーター

ハロゲンランプヒーターを用いて、短時間で高温へ品物を加熱する装置

- \* 900℃まで1分での昇温が可能
- \* 円形状、面状、上下加熱、片側のみ加熱など幅広い仕様に対応
- \* 制御の応答性も非常に早く高精度な温度コントロールが可能
- \* 大きな設置場所が不要でコンパクトに製作する事が可能

用途：金型の予備加熱、金属材料の熱処理工程

近年は、特殊フィルムの熱処理や、カーボン素材の品物の短時間昇温として導入実績があります。

環境への配慮：赤外線を最大限(97%)に反射することが出来る金反射を

ミラーに採用することで、加熱時の熱ロスが少なくなり、

エネルギーの効率化図っている。また、加熱に必要な電力の省力化

になっている。